

全労金2018春季生活闘争ニュース・第3号

本日は、全労金組織の「統一要求提出日」です！
すべての組織で、所属長等に対し、「要求書」「主旨説明」を
提出するとともに、「全国一斉職場集会」を開催しましょう！

◎全労金は、第102回中央労使協議会を開催し、「治療と職業生活の両立支援に関する申入書」を提出するとともに、全労金方針の主旨説明を行いました！

全労金は、本日、午前9時30分から、労金協会と第102回中央労使協議会を開催しました。冒頭、末留中央闘争委員長が挨拶した後、「治療と職業生活の両立支援に関する申入書」を提出し、協会・中江理事長より挨拶を受けました。

◆末留中央闘争委員長挨拶要旨

本日は、全単組統一の要求提出日としている。また、中間組織・職場組織においても、本日から明日にかけて、所属長等に対して要求書と主旨説明を提出する。

連合方針は、国民生活の維持・向上を図るため、労働組合が社会・経済の構造的な問題解決を図る「けん引役」を果たす闘争としている。また、「経済の自律的成長」「包摂的な社会の構築」に向けては、「底上げ・底支え」「格差是正」による所得向上と、将来不安の払拭による消費の拡大が不可欠であり、「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正配分」を定着させ、「雇用の維持・拡大」「労使の協力と協議」「成果の公正分配」による「クラシノソコアゲ」が必要としている。

全労金春季生活闘争は、これまで経験したことがない厳しい環境を乗り越えるために、働きがいのある労働条件や人材確保等、労使が共通認識に立ったうえでの事業運営が必要としている。また、連合方針の「サプライチェーンの適正配分」の通り、関連会社は、人件費や物件費等を抑えるためではなく、労金業態を支える事業である。

全労金は、「労金業態における治療と職業生活の両立支援」について、業務によって疾病を増悪させることなく、治療と職業生活の両立を図るための環境整備が必要と考えている。環境整備は、職員の健康確保、継続的な人材の確保、職員の安心感やモチベーションの向上、生産性の向上、健康経営の実現、多様な人材の活用による組織や事業の活性化、社会的責任、ワークライフバランスの実現に繋がる。

本日以降、単金・単組で本格的な労使交渉が始まる。金庫役員には、職員・組合員のやる気や働きがいを引き出すことで、労使双方が共通認識のもと、厳しい事業環境を乗り越え、労金運動の安定と発展に繋げていくことが求められる。労働金庫業態で働くすべての労働者が、安心して働き続けることができる職場環境を整えることが経

営の果たす役割であり、3月27日の回答期限日までに解決できるよう、労金協会として一層の尽力を果たすことを期待する。

◆中江理事長挨拶要旨

職員・組合員には、日頃から労働者自主福祉運動に尽力されていることに感謝する。また、全金庫で「要求書」が提出されると聞いているが、真摯に対応したい。

方針で示されている「格差是正」「包摂的な社会」は、SDGs（持続可能な開発目標）の中にも「金融包摂」があり、すべての人が金融サービスにアクセスできる社会が求められている。これは、「ろうきんの理念」そのものでもあり、労働金庫が非正規労働者を含めたすべての労働者における金融のセーフティネットにならないと考えている。

厳しい環境にあるからこそ、職員個々の力の結集による総合力が重要となる。職員一人ひとりが労金の理念と社会的役割を強く意識し、最大限の能力を発揮するための環境整備を労使で作っていく必要がある。先ほどの「申入書」についても、今後、検討を進めたい。

その後、深見書記長より「全労金2018春季生活闘争方針」と「申入書」の主旨を説明し、労金協会・連合会に対して、各金庫への指導等の役割発揮を求めました。

最後に、協会・加藤専務から「協会としても、単金単組間で真摯な協議が行われ、3月27日には解決が図れるよう、金庫に対して伝えていきたい。治療と職業生活の両立支援については、キャリアを有する職員が病気等によって離職することがないように、職場環境の整備を図っていく必要性は認識している。まずは現状把握からスタートし、課題の検証を進めていくが、『早期の発見』『治療への専念』『柔軟な働き方』が安心・やりがいに繋がっていくと考えている。また、定年制度の見直しについては、様々な影響を検証したうえで、議論すべき課題だと認識している。まずは労使間で研究を行いたい。春季生活闘争は、労使が約1ヵ月、議論を深めるための大切な場であり、ベクトルをあわせて進める必要がある。労使が一体となって、事業に邁進できるようにしていきたい」等の所感が表明されました。



※ 次号は3月7日(火)に配信予定です。

※全労金HP (<http://www.zenrokin.or.jp/>) もご覧ください!

以上